

令和4年 果樹病害虫発生情報 第13号

作物名：ぶどう（8月下旬）

8月下旬に実施した巡回調査（津軽地域6か所、県南地域5か所）の結果をお知らせします。津軽地域（スチューベン）ではべと病が、県南地域（キャンベル・アーリー）では、褐斑病及び晩腐病の発生が平年より多い状況です。発病葉や発病果房は適正に処分をしましょう。

1 ベと病

津軽地域では、果房の発病は確認されなかったが、新梢の発病葉率及び発病度は平年より高かった。

巡回調査におけるべと病（葉）の発生状況（品種：スチューベン）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病葉率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
津軽	本年	6	0	0	16.7	33.3	50.0	50.0	3.67	2.83
	前年	6	0	0	0	0	100	0	0	0
	平年	6	0	0	1.4	7.6	91.0	9.0	0.57	0.18

注) 1 発生程度：甚 発病葉率51%以上、多 同31~50%、中 同11~30%、少 同10%以下
2 調査方法：新梢10本について、基部葉から連続10葉における発病葉数を発病程度別に調査

巡回調査におけるべと病（果房）の発生状況（品種：スチューベン）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病果房率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
津軽	本年	6	0	0	0	0	100	0	0	0
	前年	6	0	0	0	0	100	0	0	0
	平年	6	0	0	0	0	100	0	0	0

注) 1 発生程度：甚 発病果房率51%以上、多 同31~50%、中 同11~30%、少 同10%以下
2 調査方法：100果房における顆粒の発病を発病程度別に調査

2 褐斑病

県南地域における新梢の発病葉率及び発病度は平年より高かった。

巡回調査における褐斑病の発生状況（品種：キャンベル・アーリー）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病葉率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
県南	本年	5	20.0	0	40.0	40.0	0	100	24.80	12.55
	前年	6	0	33.3	0	50.0	16.7	83.3	19.83	6.96
	平年	6	0	17.6	18.1	37.4	26.9	73.1	13.69	4.89

注) 1 発生程度：甚 発病葉率71%以上、多 同31~70%、中 同11~30%、少 同10%以下
2 調査方法：新梢10本について、基部葉から連続10葉における発病葉数を発病程度別に調査

3 晩腐病

県南地域における発病果房率及び発病度は平年より高かった。

巡回調査における晩腐病の発生状況（品種：キャンベル・アーリー）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病果房率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
県南	本年	5	40.0	0	20.0	20.0	20.0	80.0	36.00	15.75
	前年	6	0	0	33.3	50.0	16.7	83.3	9.50	3.92
	平年	6	0	0	6.7	44.6	48.8	51.2	2.56	0.90

注) 1 発生程度：甚 発病果房率51%以上、多 同31~50%、中 同11~30%、少 同10%以下
2 調査方法：100果房における顆粒の発病を発病程度別に調査

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二間屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
E-mail:byogaichu@pref.aomori.lg.jp 担当:主査 齊藤景子